



校内弁論大会を実施しました

5月31日（木）に校内弁論大会を実施しました。5月から各学年で学級弁論大会を開き、その結果を踏まえ、各学年代表者2名の計6名が発表しました。

6名とも素晴らしい発表で感心しました。また、弁論大会実行委員の皆さんのテキパキとした進行で、スムーズに会が進行していきました。聴く側の生徒たちも、私語もなく真剣な態度で弁論を聴き、配付された審査用紙に感想等を書きとめていました。ご来校いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

審査の結果、最優秀賞1名、優秀賞1名、優良賞4名が決まりました。最優秀賞に選ばれた大曲さんは、7月14日（土）に実施される「佐世保市少年の主張大会」に三川内中学校の代表として出場します。



【最優秀賞】 3年：大曲陽菜「私のおきて」

【優秀賞】 2年：市瀬佳秀「努力する理由」

【優良賞】 3年：大塚和成「スポーツから学ぶ」

2年：宮岡映月「誰かのために」

1年：宮崎真里菜「ポイ捨てをなくそう」

1年：里見真依子「地球のためにできること！」

中学生弁論大会



最優秀賞を受賞した大曲さんの弁論です

みなさんは、後悔したことはありませんか。私は、自分を見つめ直すきっかけとなる、大きな出来事に出会いました。それこそが、私が今まで生きてきた中での一番大きな「後悔」です。

それは4年前のこと。その出来事とは、あまりにも突然で、ショックが大きすぎて、涙さえも出てこないものでした。涙を流しながら帰ってきた母。泣き声のあふれかえる静かな夜。いつもは聞こえないはずの時計の秒針。その現実、頭がついていくのが精一杯でした。

強い照明の下では、曾祖父がきれいに化粧され、まるで天使のような格好で、安らかに眠っていました。会ったときには、いつでも手土産を持たせてくれた曾祖父。いつも人の役に立ち、多くの人に愛されていた曾祖父。その姿を見て、私はきちんと感謝の気持ちを伝えていなかったことに気がつきました。今ここで言わなきゃ、そう頭では思うものも、言葉に代えることができませんでした。最期にみんなが曾祖父と握手したり別れを惜しんだりしていたとき、ある方に

「ひいじいちゃんの姿を見られるのは最後だよ。」と言われました。

（裏面へ）

せめて握手をして「ありがとう」と言いたかったのですが、そのときの私には、親戚が集まっている前でそういうことを言う勇気が足りず、何も伝えられないまま、触れることもできないまま、それが最期の別れとなってしまいました。

胸におさまるくらいに小さくなった曾祖父を見て、あのとき伝えていればよかった。握手をしていればよかった、とたくさん後悔しました。

大切な人を失ってから気づかされたこと。それは、私の目指す人物像であり、また、皆さんに伝えたい三つのことです。



一つ目は、当たり前と思わず、誰にでも感謝の気持ちを持つことです。しかし、このくらいことは皆さんご存知でしょうし、既に実行されている方が多数でしょう。では、それを言葉にして伝えてありますか。特に、一番身近にいる人にはあまり伝えていないのではないのでしょうか。これは明日から、いや、今日から始められることです。もう二度とこのような後悔をしたくない、それに皆さんにもしてほしくありません。

二つ目は、人の役に立つことです。人の役に立つ、と聞いたら大きなことを思い浮かべてしまう方もいることでしょう。でも私は、些細なことでも、積み重ねることによって人の役に立つ第一歩につながると思うのです。一人一人がその第一歩を踏み出せば、今よりも、さらに心地よく過ごすことができるのではないのでしょうか。

三つ目は、たくさんの人を愛し、愛される人になることです。これは、今まで挙げた三つの中で、私の一番大きな課題です。人には美点と欠点がつきものです。みなさんは相手を見るとき、美点と欠点のどちらを探していますか。人を愛するには、その人の美点を探したほうがいいのではないのでしょうか。それに、その行動は自分の目標を探す、ということにもつながると思います。ですから、人の美点を探し、そして愛し、私も曾祖父のように、たくさんの方に愛される人になれるよう、頑張りたいです。

同じ後悔はしたくありませんが、私は全く後悔しない人生というのもおもしろくないのではないかと考えました。たまには壁にぶつかり、その壁を乗り越えることは容易ではありませんが、それを乗り越えることによって、大きな達成感を味わえるとともに、また一つ成長できるのではないのでしょうか。そして乗り越えた後、もしその結果に後悔しているのであれば、次に生かせるように、どの判断がいけなかったのか、自分を見つめ直すよい機会になるのではないのでしょうか。

私のおきて。それは、二度と同じ後悔をしないように、私の描く人物像に向かって、これからの人生を歩むことです。